

平成30年度 補正予算

1億1739万円を増額し、予算総額は29億953万円に

平成30年度各会計予算総額から1億1739万円を増額し、全会計の予算総額は29億953万円となりました。

一般会計歳出については、未熟児養育医療費36万円などを追加し、年度末までに見込まれる不用額を減額しました。

歳入歳出の差額で発生する余剰金2億440万円については、今後予想される老朽化したインフラ施設等の更新に備え、公共施設建設基金(※)に積み立てられます。

※公共施設建設基金

公共施設の建設や公有地取得等に要する財源を積み立てるための基金。

会計名	補正額	予算総額	
一般会計	9859万円	20億5483万円	
特別会計	国民健康保険	7060万円	4億6667万円
	簡易水道事業	▲770万円	8950万円
	介護保険	▲4410万円	2億5363万円
	介護予防支援事業	－	99万円
	後期高齢者医療	－	4390万円
合計	1億1739万円	29億953万円	

(万円以下四捨五入)

おもな条例改正など

災害援護資金の貸付要件を改正

災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例の一部改正

災害弔慰金の支給等に関する法律施行令の一部改正に伴い、災害救助法が適用された場合の災害援護資金

の貸付けについて、保証人を立てることが必要となる事など、所要の改正を行いました。

消防団員の報酬を増額

鳴沢村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団員の報酬について、近隣市町村及び県内の平均額を勘案し、所要の改正を行いました。

低所得者に対する国保税の軽減判定所得などを引き上げ

鳴沢村国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、保険税負担の公平の確保及び、中低所得層の保険税負担の軽減を図るため、所要の改正を行いました。

放課後児童支援員(※)の資格要件を追加

鳴沢村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

学校教育法が改正され、専門職業人材の養成を目的とする「専門職大学」の制度が設けられたことを受け、放課後児童支援員の資格要件へ追加するための改正を行いました。

※放課後児童支援員

学童保育の指導のための専門資格。子供が小学校の授業を終えた後に過ごす学童保育施設(総合センター)に現在1名、配置されている。

現状に応じて新たに村道を認定

村道路線の認定及び廃止

中山間地域総合整備事業による農道整備、また、現況道路と道路台帳の整理、農道及び林道の一部

を村道管理とすることに伴い、現状に応じて村道を廃止し、また新たに村道を認定しました。

人事

教育委員会(※)委員の三浦 雄一郎氏が3月31日をもって辞任することに伴い、次の方の任命に同意しました。

小林 傳吾 氏 (鳴沢 1 組)

任期は 4 年間となります。



教育委員会

教育長と 4 人の委員で組織する合議制の執行機関で、性質上首長から独立している。
公立学校その他の教育機関を管理し、学校の組織・教育課程・教職員などに関する事務を取り扱うほか、社会教育・文化財・スポーツなどに関する事務を管理、執行する。

総務教育厚生常任委員会

委員長
小林 昭一

現場の声を吸い上げ 子どもたちが戻って 来られる村に

3月1日に、鳴沢小学校PTA役員のみなさまと座談会を開き、ご意見やご要望などをお伺いしました。

PTA役員の皆さまからは、次のようなご意見等をいただきました。



座談会ではこのほかにも様々なご意見がありました。

これらの内容を受けて委員会で協議し、下記の事項を全議員で構成される議員協議会へ提言することを決定しました。

- ① プログラミング授業での専門知識を有する人材の活用
- ② 時代に則したグローバル教育の推進
- ③ 村外に出た若者が戻って来られるような環境づくり
- ④ 近隣自治体と合わせ遊学館の時間延長
- ⑤ 生き生き広場への遊具の増設
- ⑥ 体育祭で別荘地などの方が滞在しやすいスペース等の創設

お話しをお伺いし、PTA役員の方々の子どもたちへの愛情はもちろん、村に対する愛着、村の良さを多くの人に伝えたいという思いを感じました。

今後もより多くの方に愛される村になるよう、議会としても邁進していきたいと思っております。



- ◆ 村や区からの支援が手厚く、村全体で子どもたちを守っていこうという意識が感じられる。今後も継続してほしい。
- ◆ 移住者の方などに鳴沢村の良さが伝えられるような取り組みを検討してほしい。
- ◆ 子ども達が広く外の世界を知ることができるような取り組みを考えてほしい。
- ◆ 子どもたちが小学校で村の文化に触れるのはとても大事で、そこから故郷への愛着が生まれると思う。
- ◆ 体育祭では、別荘地の方も子どもの出番まではいるが、そのあと帰ってしまう。テントなどもないので、子どもたちはいたくても親がいづらいのでは。
- ◆ プログラミング授業の必修化に伴い、専門知識のある方の活用など、サポート態勢を整えていただきたい。
- ◆ 村で育った子どもたちが将来的に戻って来られるような仕組みや環境をつくってほしい。
- ◆ 遊学館は便利で助かっているが、17:30までだと迎えに行けない親も多いと思う。近隣のように18:00まで預かってくるとありがたい。
- ◆ 生き生き広場に遊具を増やしてほしい。



小林 清一 議員

本年、小学校4年生の児童が父親の虐待により死亡する事件があった。いじめアンケートが父親に渡り虐待がエスカレートした結果の事件であった。児童虐待の防止と、発覚した場合の処置対応を示せ。

- 教育長 渡邊 伸一
内閣府から児童虐待防止対策の体制強化を図

Q 児童虐待の防止と対応は

A 関係者との連携を強化し 支援対策を協議

ることとした通知が発出された。増加する児童虐待の早期発見、対応、子供の適切な保護等について、学校等及びその設置者と市町村、児童相談所が連携して対応が図られるよう取り組むものとされた。強化事項として、保護者に虐待を告知する際には、子供の安全を第一とし、通告元は明かせない旨を伝えることとされている。この通知は関係部署で共有し、小学校、保育所に対しても再確認するよう指導した。

本村では、虐待防止等対策地域連絡協議会を設置し支援対策を協議している。

小学校では、いじめに関するアンケートを行ない、身体測定時には身体の不自然な傷などを確認。また、全教員で児童に声かけを行い、いじめ・虐待の早期発見に努めている。

Q 地域おこし協力隊の村の活用は

A 平成31年度予算で2名の募集を予定

村長は新年の挨拶で、地域おこし協力隊を採用すると表明している。

総務省のホームページによると、県内では19市町村で91名活躍中である。

北杜市14名、都留市12名、小菅村10名、丹波山村9名等、小さな町村でも多くの協力隊を採用して成果を上げている。

鳴沢村ではどのような内容で何名募集するのか。

- 村長 小林 優
地域おこし協力隊制度は、平成21年度から行われ、現在、全国で5,000人余の方が募集のあった地域でさまざまな活動をしている。

地域おこし協力隊の主な条件としては、活動期間は原則3年間で、住民票を移し、その地域への定住を図ることとされている。村では、平成31年度予算で2名の募集を予定している。第1に地元の野菜や新たな農作物を導入し、6次産業化に意欲のある方、第2に農産物等の流通、



小林 利雄 議員

販売の経験者を募集し、地元の農産物の販売促進などを行って、地域の活性化に役立つ意欲のある方に来ていただきたいと考えてる。



地域おこし協力隊による薪の出荷(写真提供:道志村役場)



渡邊 政司 議員

Q 役場窓口業務の時間延長の考えは

A 他自治体の導入状況と運用策を調査研究

仕事を休まないで証明書等が貰えるように、窓口業務の時間を延長して利便性を上げていただきたいとの要望がある。職員のフレックスタイム制を導入して、役場の窓口業務の時間を延長する考えは。

●総務課長 渡辺 一博

平成16年度からは、住民課職員1名で、昼休み時間に各種証明書等の発行を実施している。また、平成17年度からはゴールデンウイーク

明けから5月末まで、税務課職員を昼休み時間に1名配置し、固定資産税に関する事務対応を実施している。

フレックスタイム制度導入については、村民サービスの低下や、行政運営に支障が生じないように本村と同規模の自治体の導入状況や運用策の動向等を踏まえ、調査研究していく。

●渡邊 政司

富士河口湖町では毎週水曜日に午後6時半まで延長して窓口業務を実施している。また、富士吉田市では、毎週水曜日午後7時まで延長している。

村民からの要望を踏まえ、利便性向上に向けて改善していくよう要望する。

Q 健康づくり等による医療費抑制効果は

A 予防事業の効果の実証は困難

高齢化により、国民健康保険税の増加が懸念されるが、今後の見込みは。

また、健康づくり等による医療費抑制効果は。

●住民課長 小林 昌信

平成31年度の保険税率は、平成30年度から変更はない。県から表示された標準保険税率は大幅に上がっているが、約1億3,000万円の基金を財源に現行の税率を維持していく。

医療費抑制に向けては、福祉保健課と連携し、特定健診・がん検診の実施や精密検査に入った人への検査費用の助成や慢性腎臓病予防として講演会や健診での継続フォローにより、重症化の予防をしている。

しかし、医療費削減の効果額については、健康である理由が予防事業の効果であるのかを実証する方法がなく、効果の実証は困難である。

●渡邊 政司

高齢化に伴い、医療費も増加傾向にあり、職員による医療費抑制への取り組みの努力が見えにくい状況にある。

職員のモチベーションが下がらないように予測効果を数値化して、評価する必要がある。



「貯筋会」で健康な体づくり



小林 昭一 議員

総務省の地域おこし協力隊の隊員では制約が多く、地域活動の意欲があっても該当しない場合がある。誰でも起業できるように、村独自の支援が必要だと思う。

総合戦略でも、創業、起業の支援が明記されているが、これまでは特に取り組みが進んでいないように思われる。村独自の起業支援策等について、今後の取り組み方針は。

Q 村独自の起業支援の今後の方針は

A 現行の制度を利用してほしい

●村長 小林 優

総合戦略では、新規に村内で会社等を創業するという事項で、平成31年度までの目標数2件のところ平成29年度末の実績で5件であり、目標を達成している。支援策については、国の産業競争力強化法に基づく創業支援事業制度がある。手続や支援は、平成28年度から河口湖商工会と村で行っているが、利用がない状況である。

これらの制度は、全国の商工会や市町村で実施しており、関連する金融機関や法務局で総合的に支援を行っている。

この制度をご利用いただき、村内から1件でも多くの起業をし、地域経済の活性化に貢献していただきたいと思っている。



三浦 直樹 議員

春日神社、魔王天神社、八幡神社、通玄寺。いずれも歴史があるすばらしい建造物だが、国道からも近くの村道からも何の案内表示もなく、旅行者や観光客にアピールできていない。よりPRする考えは。

●企画課長 渡辺 安司

平成29年度に村内の集落を周遊する60分コースの観光パンフレットを作成。道の駅を起点に魔王天神社、番所跡、道祖神、通玄寺、春日神社、溶岩樹型、生き生き広場などを經由して道の駅に戻ってくる案内となっている。

また総合観光パンフレットを見直し、神社仏

Q 村内の観光名所として神社等をPRする考えは

A より周遊しやすい環境整備を検討

閣や東海自然歩道を含む集落マップと周辺の散策コースを掲載した。

道の駅だけでなく、溶岩樹型や神社等への誘客に努め、また、英語中国語も入れたパンフレットを作成している。

集落の位置情報は、スマホ等でも見られるが、今後は案内表示の設置も含め周遊しやすい環境整備を検討したい。



荘厳な廻り舞台を有する八幡神社

ICTセミナーで 自治体向け タブレットを体験



2月8日、東京インタープレイ(株)が主催する「ICTとタブレットの活用が広がる議会・防災・働き方改革」と題したセミナーに参加しました。

内容は議会活動のペーパーレス化が主な内容でした。現在、全国で導入している自治体は2月の時点で152件あり、今後さらに広がる傾向ということです。

先進自治体として、愛知県江南市議会の体験講演がありました。検討をはじめて本格導入まで約1年半、効果としては審議の深化(議会の活性化)や紙及び労働時間の削減(人件費や電気代)、課題としては議員間に温度差があることや、導入経費(約170万円)及び経常経費(約140万円)等の費用面とのことです。

その他インタープレイ社及びメーカー(ソフトバンク)による仕様の解説がありました。仕

様等の解説を受け、利用者側に大変便利な機能が用意されていますが、それをどの様に有効に活用していくのがポイントであると感じました。

今後、大きな動きとしてICTの活用が進んでいくと思われますが、特に費用対効果をよく見極めて進める必要があると考えます。



タブレットに実際にふれて操作性・利便性を体感



グラウンドゴルフを 楽しみませんか！

小林 清澄、渡辺 博文

グラウンドゴルフ部は、平成20年に発足しましたが、現在の会員数は56名で半数以上が80歳代となり、高齢化が進んでおります。

グラウンドゴルフは、「より身近な楽しい生涯スポーツ」として幅広い年齢層から親しまれております。

また、人との交流により、心と体の不安感が少ない等といった結果が出ており、健康寿命の延伸に繋がる可能性が高いスポーツであると言われております。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、今後ますますスポーツ推進の機運が高まっていくなか、心身の健康を維持し、人との繋がりを深めるこのスポーツが家族

や仲間の絆を深め、健康で活力ある地域社会の実現に貢献できるものと考えております。

ご存知の通り、グラウンドゴルフは、エチケットとマナーを重視し、自らを律する品位ある行動が求められるスポーツでもあります。

グラウンドゴルフ部へのご加入をお待ちしています。



いきいきと達者なグラウンドゴルフ部のみなさん
(向かって右端が清澄さん、左端が博文さん)

広報常任委員推薦！ 鳴沢のおすすめ！

広報常任委員 渡邊 政司

万葉の歌碑

令和改元で万葉集が脚光を浴びていますが、紅葉台には長歌と短歌二首の歌が刻まれた万葉歌碑があります。当時、万葉集を研究していた梶原辰衛さんを中心に人々が集い、平成4年に建立されました。撰文している中西進万葉学者は、新元号「令和」の考案者とも言われています。

令和には、「人々が美しく

心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているそうです。時を超えて、村の文化が育まれていくことを期待します。



総務教育厚生常任委員会より

いつまでも生き活きと達者に暮らせるよう、日頃から健康管理を心がけましょう。

村内の
医療機関

なるさわクリニック ☎0555-25-7571
なるさわ接骨院 ☎0555-85-3700
安富歯科医院 ☎0555-85-3955

議会からのお知らせ

傍聴してみませんか
次の定例議会は6月中旬
に開会予定です。

傍聴可能な日程は、
役場議会事務局までお気軽
にお問い合わせ下さい。

7月にCATVでも放映予定です。
ぜひご覧ください。

☎85-2311 (内線111)

なるさわ議会だよりは、ホームページでも公開
しています。また、本会議の会議録も公開して
いますので、ぜひアクセスしてください。

